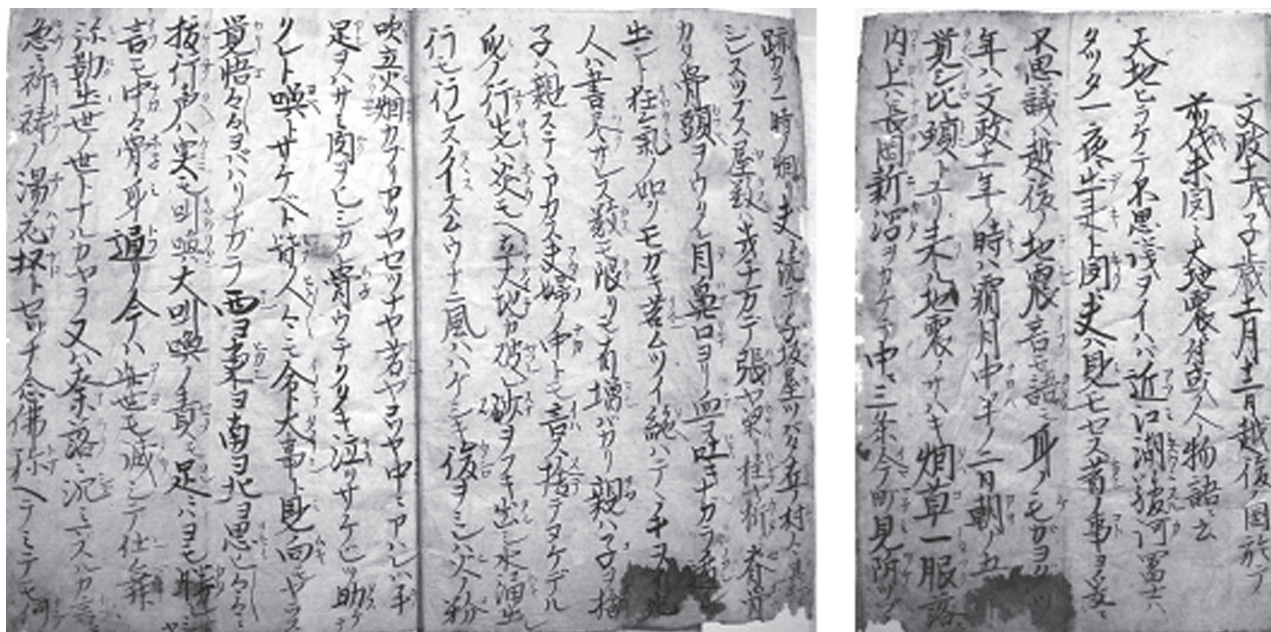


新たに所蔵となった資料を紹介します



文政十一年地震口説 (E1108)

文政大地震は、文政11年11月12日（1828年12月18日）の早朝に、新潟県中部で発生した地震です。地震の規模はマグニチュード6.9と推定されています。信濃川に沿った被害地域は三条・燕・見附・今町・与板などに及び、家屋はほとんど全壊しました。この地震の様子は絵図や口説（くどき）など様々な形で後世に残されてきました。口説の中では、地震発生時の状況や被災した人々の混乱ぶり、各藩の救済活動などがうたわれています。

〔文政十一年地震口説解説文〕

文政十一戊子歳十一月十二日越後ノ国於テ
前代未聞之大地震ニ付或人ノ物語ニ云

天地ヒラケテ不思議ライハバ、近江湖・駿河富士ハ
タツタ一夜ニ出来ト聞、夫ハ見モセス昔ノ事ヨ、爰ニ
不思議ハ越後ノ地震、言モ語モ身ノモガヨダツ、
年ハ文政十一年ノ時ハ霜月中半ノ二日、朝ノ五ツト
覚シ比（頃）ニ、頓トユリ来ル地震ノサハキ、烟草一服落ス
内ニ、上ハ長岡新潟ヲカケテ、中ニ三条今町見附、ツブス
跡カラ一時ノ煙リ、夫ニ続テ与坂屋ツバタ（与板やツバタ）、在ノ村々其数
シレス、ツブス屋敷ハ幾千万デ、張ヤ梁リ柱ヤ桁ニ、背骨
カタ骨頭ヲウタレ、目鼻口ヨリ血ヲ吐キナガラ、遁レ
出ント狂氣ノ如ク、モガキ苦ムツイ絶ハテ、手ライ死
人ハ書尽サレス、数モ限リモ有増バカリ、親ハ子ヲ捨
子ハ親ステ、アカス夫婦ノ中トモ言ス、捨テヌケデル
身ノ行先ハ、炎モヘ立天地カ破レ、砂ヲフキ出シ水涌出シ、
行モ行レスタズムウチニ、風ハハゲシキ後ヲミレハ、火ノ粉
吹立火煙カブリ、アツヤセツナヤ苦ヤコワヤ、中ニアハレハ手
足ヲハサミ、肉ヲヒシカ骨ウチタタキ、泣ツサケビツ助ケテ
クレト、喚トサケベト皆人々モ、命大事ト見向モヤラス、
覚悟々々ヨバハリナガラ、西ヨ東ヨ南ヨ北ヨ、思ヒ々々ニ
抜行声ハ、実モ叫喚大叫喚ノ、責モ是ニハヨモ勝レシヤ
言モ中々骨身通リ、今ハ此世モ滅シテ仕舞、
弥勒出世ノ世トナルカヤヲ、又ハ奈落ニ沈ミマサルカ、言モ
急ニ祈禱ノ湯花杯トセツナ念仏誦ヘテミテモ、何
（以下略）

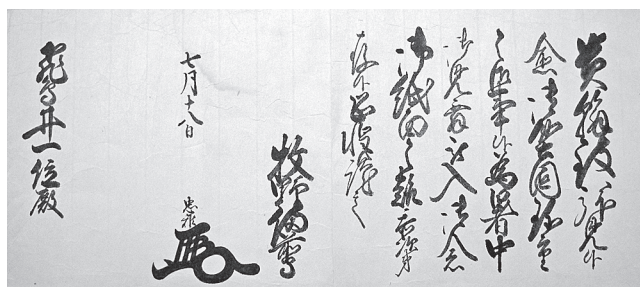
平成23年度に閲覧可能になった受贈受託文書

昨年度より、新たに閲覧可能になった受贈受託文書を紹介します。

請求番号	文 書 名	文 書 群 解 説
E1101	東北日報	明治27～29年、1点。東北日報の綴。日清戦争と政局に関する報道が中心。
E1103	関屋分水路改修工事関係資料	昭和40～42年、18点。関屋分水路事業にかかわる住民側資料。
E1104	大正・昭和戦前期教科書	大正～昭和戦前期、43点。戦前の巻中学校で使用された教科書。
E1105	近代産業関係資料	昭和23～44年、16点。戦後期における工業製品の製図や路線図面。
E1108	文政十一年地震口説	近世、1点。文政大地震の被害規模、民衆の混乱、風評などを記す。
E1109-1	佐久間象山詩幅	文久3年、1点。佐久間象山の白桜花歌。
E1109-2	牧野備前守書状	近世、1点。長岡藩第10代藩主牧野忠雅の暑中見舞返礼。



大正・昭和戦前期教科書（E1104）



牧野備前守書状（E1109-2）

平成23年度に閲覧可能になった公文書(移管文書)

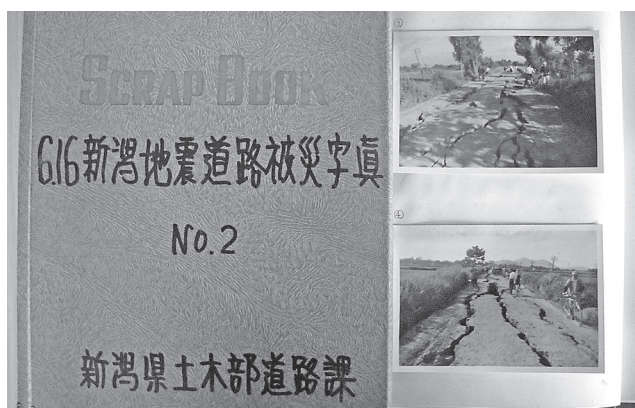
昨年度より、新たに閲覧可能になった公文書を紹介します。

請求番号	文 書 名	備 考
H10総文 1～5	「文書事務の手びき」の作成関係書類 昭和38年7月 ほか	総務部文書私学課作成 作成年：昭和38年～昭和54年ころ
H10総管 1～37	土地建物図面	総務部管財課作成 作成年：昭和23年～昭和46年ころ 県総合庁舎、高校、研究施設等の建物図面など
H10土道管 1～28	新潟地震道路被災写真 村上・新潟・長岡・与板 ほか	土木部道路管理課作成 作成年：昭和36年～昭和40年 新潟地震橋梁震害調査報告概要、新潟地震道路災害に関する調査報告書など
H10土河管 1～37	破間川・木無川・三国川 ほか	土木部河川管理作成 作成年：昭和43年～昭和56年 河川区域指定位置図ほか
H10土河整 1～42	信濃川・栗ノ木川 ほか	土木部河川整備課 作成年：昭和35年～昭和54年 河川区域位置指定図ほか

※移管文書とは、新潟県（本庁のみ）で作成された文書のうち、保存年限が満了したもので、各課が歴史的価値があると判断し、文書館へ移管した文書です。

● 特別企画展「災害と復興～古文書・公文書に学ぶ」を開催しました

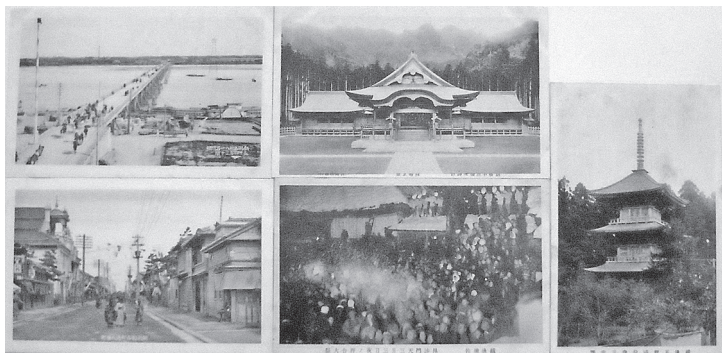
新潟県立文書館では平成24年3月6日(火)～3月11日(日)の間、東日本大震災の発生から1年が経過することを受けて、2階閲覧室において特別企画展を開催しました。江戸時代の文政大地震や明治時代の信濃川洪水、昭和39年(1964)の新潟地震など、新潟県内で過去に発生した地震や水害などに関係する古文書・公文書を展示し、被害の状況や復興へ向けた取り組みの様子を紹介しました。



新潟地震の様子を伝える公文書

● 常設展で展示した資料を紹介します

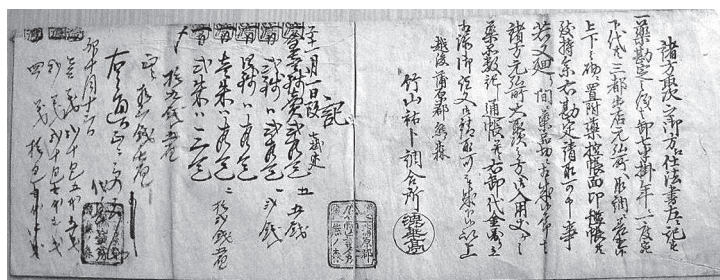
1階エントランスホールでは、1～2か月ごとにテーマを決めて所蔵資料を紹介する常設展示を行っています。今年度展示した資料のなかから代表的な資料を紹介します。



戦前に作成された新潟県内の名所旧跡絵葉書
(F74 北魚沼郡小千谷町西脇家文書)

◀「絵葉書に見る名所旧跡～大正・昭和期の新潟県内のすがた～」(5月8日～6月17日)では、戦前に新潟県内の名所旧跡を撮影して作られた絵葉書を展示しました。絵葉書は、大正から昭和初期にかけて一大ブームを巻き起こし、新潟市内の名所をはじめとして、弥彦神社や寺泊、佐渡鉱山、笹川流れなどさまざまな絵葉書が残されています。これらの絵葉書から、戦前の新潟県の風景や風俗が偲ばれます。

▶「近世・近代のくすり展～竹山亭と真珠散～」(6月19日～7月22日)では、江戸時代から明治時代にかけて使用されていたさまざまな薬の効能書や薬袋などを展示しました。また、新潟県内において目薬製造販売者であり眼科医でもあった竹山亭(現燕市、旧分水町出身)が製造、販売した目薬「真珠散」に関する資料も併せて展示しました。「真珠散」は、全国に販路を拡大し、その収益を活用した竹山亭は文化活動に取り組みました。



「真珠散通帳」(明治9年)

薬は付けで買って、後日代金を支払っていました。通帳には、いつ、何を、いくらで購入したのかを記録しておき、手代が代金徴収に回っていました。(E9501-239-2 南魚沼郡六日町医家平賀家文書)

◎平成24年度 これまでの常設展示◎

5/8(火)～6/17(日)	「絵葉書に見る名所旧跡～大正・昭和期の新潟県内のすがた～」
6/19(火)～7/22(日)	「近世・近代のくすり展～竹山亭と真珠散～」
7/24(火)～8/5(日)	「魚沼の町医者・阿達玄庵」
8/7(火)～9/2(日)	「いろいろ動物園～本に隠れた生き物を探そう～」

平成24年度 これからの文書館主催講座のお知らせ

○古文書解読講座：くずし字の解読を中心とした講座です。

講座名	期 日	会 場	定員	申込開始日
初心者のための 古文書講座(秋季)	10月5日・12日(金)	新潟県立生涯学習推進センター 大研修室 (新潟県立文書館複合施設) ※初心者のための古文書講座の会場は、10月5日が ホール、10月12日が大研修室になります。	50名	9月14日(金)
古文書中級解読講座(秋季)	11月2日・9日(金)	新潟県立生涯学習推進センター ホール (新潟県立文書館複合施設)	180名	10月12日(金)

※時間はすべて13：30～15：30

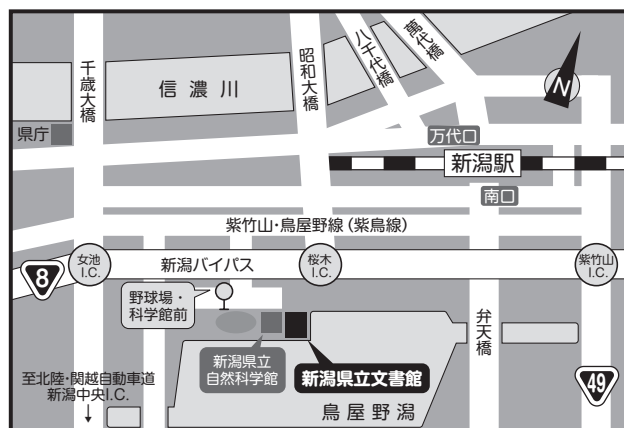
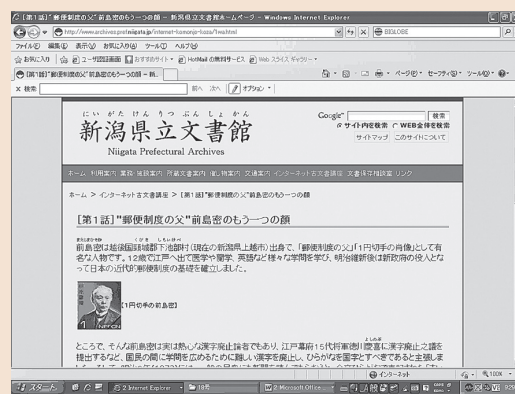
○文書館歴史講座：資料をもとに、その歴史的背景などについて学ぶ講座です。

講座名	期 日	会 場	定員	申込開始日
第2回文書館歴史講座 (特別企画展記念講演会)	10月27日(土)	新潟県立生涯学習推進センター ホール (新潟県立文書館複合施設)	180名	10月2日(火)
第3回文書館歴史講座	3月9日(土)	新潟県立生涯学習推進センター ホール (新潟県立文書館複合施設)	180名	2月12日(火)

※時間はすべて13：30～15：30

「越後佐渡ヒストリア」を文書館ホームページに掲載しています

新潟県立文書館では、新潟県立文書館ホームページの「インターネット古文書講座」の中に、新コーナー「越後佐渡ヒストリア」を掲載しています。越後・佐渡の歴史に関する様々なエピソードを、文書館所蔵資料を交えて紹介するコーナーです。ぜひご覧ください。



県立文書館は、県立図書館と県立生涯学習推進センターとの複合施設です。JR新潟駅の南口または万代口からバスが出ています。南口より「女池愛宕行き」または「市民病院行き」、万代口より「女池愛宕行き」に乗り、「野球場・科学館前」で下車して徒歩8分です。

新潟県立文書館ホームページ
<http://www.archives.pref.niigata.jp/>

編集・発行 **新潟県立文書館**
 〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号
 TEL. 025-284-6011 FAX. 025-284-8737
<http://www.archives.pref.niigata.jp/>
 E-mail. archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp